第16講 【近代編】ヨーロッパのアジア侵略
PART3 列強の中国進出とその影響

Chapter 1　清朝の衰退と諸外国の進出

目標
アヘン戦争がおこった背景を理解しよう。
アヘン戦争の南京条約とアロー戦争の北京条約を比較しよう。

1　清の衰退と三角貿易

①清朝の支配体制の動揺

A　18世紀から人口が急増。19世紀半ばには約4億3000万人に達する

B　内陸部の開発が，乱開発や森林伐採によって限界に達する

C　四川などで白蓮教が広まり，1796年，**白蓮教徒の乱**が発生

※清朝の八旗，緑営に代わり，地方有力者の**義勇軍**（**郷勇**）が反乱鎮圧に活躍。

②片貿易

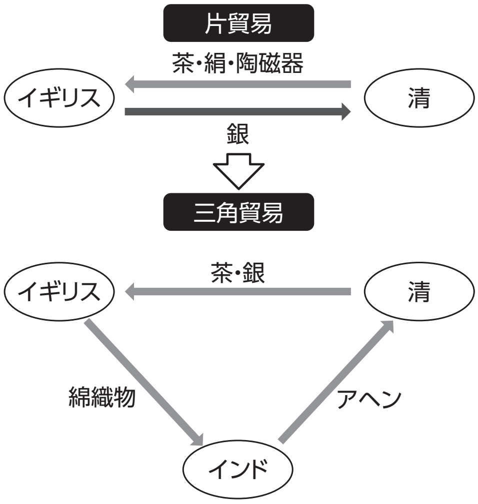
清が茶，絹，陶磁器をイギリスへ輸出，イギリスからは大量の**銀**が流入

→対清貿易が輸入超過だったイギリスが，〔　　　　　　　　　　　　　〕や**アマースト**を清に派遣，貿易条件の改善を求めるが拒否

③イギリス・インド・清を結ぶ**三角貿易**

イギリスが，インド産の**アヘン**を清に輸出。清から茶を輸入して本国へ運び，イギリスから綿製品をインドへ輸出

→清ではアヘンの害毒に苦しむ民衆が激増。銀価格が高騰し，社会不安を招く



片貿易と三角貿易

2　アヘン戦争と朝貢貿易体制の崩壊

1796年　清がアヘンの輸入を禁止

1839年　広州に〔　　　　　　　〕を派遣，アヘンを没収して廃棄する

1840年　〔　　　　　　　　　　　〕が勃発

※イギリス軍が最新の兵器と戦術によって，清軍を圧倒。

1842年　アヘン戦争の講和条約〔　　　　　　　　〕を締結

※（1）**上海・寧波・福州・厦門・広州**の開港，（2）〔　　　　　　〕の割譲，（3）賠償金の支払い，（4）**公行**（特許商人）廃止による自由貿易などを定める。

→朝貢貿易体制の崩壊

→その後，イギリスと五港通商章程や**虎門寨追加条約**を締結

※（1）領事裁判権（治外法権）の承認，（2）関税自主権の喪失，

（3）片務的**最恵国**待遇などを定めた**不平等条約**。

1844年　アメリカと**望厦条約**，フランスと**黄埔条約**を締結，イギリスと同等の権利を承認される

3　アロー戦争と列強の進出

1856年　**アロー号事件**

香港船籍の中国人船員を，清が海賊容疑で逮捕

1856年　〔　　　　　　　　　〕（**第二次アヘン戦争**）

※アロー号事件，宣教師殺害事件を口実にイギリス・フランスが共同出兵。

1858年　イギリス・フランスと〔　　　　　　　　〕を締結

※（1）イギリス・フランスへ賠償金の支払い，（2）開港場の増加

（3）**外国公使の北京在駐**，（4）外国人の**内地旅行の自由**，（5）**キリスト教布教の自由**，（6）アヘン貿易の公認などを定める。

1859年　批准書交換のために北京へ向かう英仏軍と清軍が衝突し，戦闘が再開

※このとき，英仏軍が北京郊外の**円明園**を略奪，破壊。

1860年　ロシアの調停で〔　　　　　　　　〕を締結

※天津条約の内容に加えて（1）賠償金の増額，（2）天津の開港，（3）九竜半島南部のイギリスへの割譲などを定める。

1861年　外交交渉のため，北京に〔　　　　　　　　　　　　　〕を設立

まとめ

イギリスが清にアヘンを流したことで，清がアヘンの密貿易を取り締まると，アヘン戦争が勃発した。

南京条約では五港の開港など貿易関連の条項が取り決められたが，北京条約では外国公使の北京駐在権など，政治関連の条項が中心であった。

Chapter 2　清の内乱と改革運動

目標
太平天国の乱の鎮圧に活躍した軍隊は何だろう。
洋務運動の問題点を理解しよう。

1　太平天国の乱

19世紀半ば　安徽の**捻軍**，貴州の少数民族（ミャオ族）など，各地で反乱が勃発

1851年　宗教結社（**拝上帝会**）の〔　　　　　　　〕が広西省の金田村で挙兵し，**太平天国**を建てる

※洪秀全はキリスト教の影響を受け拝上帝会を創設。

※清朝打倒を目指してスローガン「〔　　　　　　　〕」を掲げる。

1853年　太平天国軍が**南京**を占領して天京と改称し，華中・華南を支配

→漢人官僚の〔　　　　　　〕が湖南で**義勇軍**（**郷勇**）の**湘軍**を，〔　　　　　　〕が安徽で**淮軍**をそれぞれ組織して，反乱鎮圧に活躍

※イギリス人**ゴードン**やアメリカ人**ウォード**が，近代的装備の中国人の軍隊〔　　　　　　〕を指揮して郷勇を助ける。

1864年　天京が陥落し，太平天国が滅亡

2　近代化の進展

①同治の中興

1861年に**同治帝**が即位。その治世は内政・外政が比較的安定

②〔　　　　　　　　〕（1860年代～1890年代）

曾国藩，**李鴻章**，**左宗棠**ら有力漢人官僚が中心となって，欧米の技術を導入。軍事・技術面で近代化を推進する

③〔　　　　　　　　〕

洋務運動の基本思想。伝統的な政治体制のもと，軍事・技術面の近代化（欧米の技術の導入）を図る

→抜本的な改革にならず，中途半端に終わる

3　ロシアの極東南下

1858年　アロー戦争に乗じてロシアが清に圧力，〔　　　　　　　　　　〕を締結

※**黒竜江（アムール川）**以北をロシアに割譲，ウスリー川以東を共同管理地とする。

1860年　英仏との調停の見返りとして，ロシアと〔　　　　　　　　〕を締結

※〔　　　　　　〕（**ウスリー川以東**）をロシアに割譲。

→軍港〔　　　　　　　　　　　　　　〕を建設

1871年　ロシアが新疆に出兵し〔　　　　　　　　〕がおこる

※新疆のイスラーム教徒の反乱を利用してイリを占領，清と対立。

1881年　**左宗棠**が新疆を奪還，ロシアと**イリ条約**を締結

※ロシアはイリ地方から撤退するが，通商上の特権を獲得。

ロシアの割譲地

まとめ

太平天国の乱は，漢人官僚の義勇軍である郷勇や，外国が介入した常勝軍により鎮圧された。

洋務運動は「中体西用」を掲げ，中国の伝統を守ったため，中途半端に終わった。

第16講　PART3　確認問題

1　1796年に四川などで発生した反乱はどれか。

①　赤眉の乱　②　黄巣の乱
③　白蓮教徒の乱　④　黄巾の乱

2　広州に派遣されて，アヘンの密輸を取り締まった清の政治家はだれか。

①　林則徐　②　秦檜
③　趙匡胤　④　張居正

3　アヘン戦争に敗れた清が，南京条約でイギリスに割譲したのはどこか。

①　九龍半島南部　②　台湾
③　遼東半島　④　香港島

4　1858年に清がイギリス・フランスと締結した，アロー戦争の講和条約を何というか。

①　北京条約　②　天津条約
③　黄埔条約　④　望厦条約

5　1851年に広西省の金田村で挙兵し，太平天国を建てた人物はだれか。

①　呉三桂　②　朱全忠
③　洪秀全　④　王仙芝

6 漢人官僚の曾国藩が，太平天国の乱鎮圧のために組織した義勇軍はどれか。

① 湘軍　② 八旗
③ 緑営　④ 淮軍

7 同治帝の治世に行われた洋務運動の説明として，**適当でない**ものを一つ選べ。

① 1860 年代から 1890 年代に行われた。
② 同治帝の母である西太后が中心となって進められた。
③ 軍事・技術面の近代化を図った。
④ 中体西用が洋務運動の基本思想だった。

8 ロシアに黒竜江（アムール川）以北を割譲することになった，1858 年の条約を何というか。

① ネルチンスク条約　② イリ条約
③ キャフタ条約　④ アイグン条約

第16講 PART3　確認問題 解答

1 **解答：③**　1796年に発生した**白蓮教徒の乱**は1804年に鎮圧された。反乱鎮圧には多額の費用がかかり，清朝の財政を圧迫した。

2 **解答：①**　清は**林則徐**を広州に派遣し，外国商人からアヘンを没収して廃棄した。

3 **解答：④**　清は1842年の南京条約で，イギリスに**香港島**を割譲した。

4 **解答：②**　アロー戦争に敗北した清は，1858年にイギリス・フランスと**天津条約**を締結した。

5 **解答：③**　宗教結社（拝上帝会）の指導者**洪秀全**は，1851年に国号を太平天国とする独立国家を建てた。

6 **解答：①**　曾国藩は，**湘軍**を組織して太平天国の乱鎮圧に貢献した。淮軍は李鴻章が組織した。

7 **解答：②**　洋務運動の中心になったのは，曾国藩，李鴻章，左宗棠ら有力**漢人官僚**たちである。

8 **解答：④**　清は1858年の**アイグン条約**で，黒竜江（アムール川）以北をロシアに割譲した。